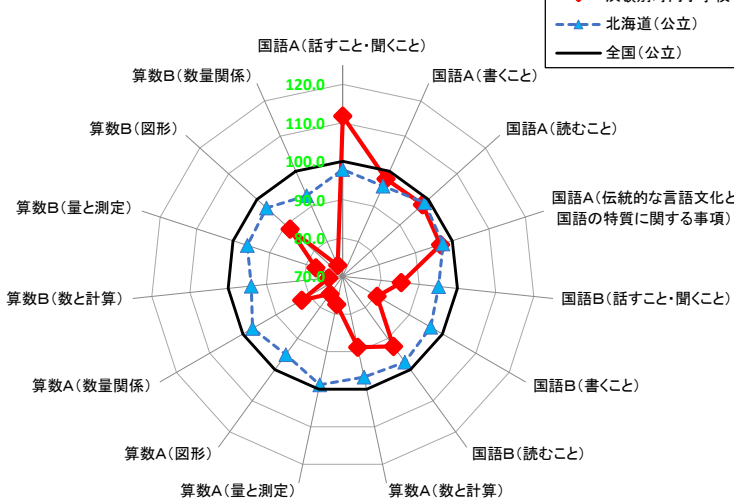


# ■ 浜頓別町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数:2、児童数:26名)

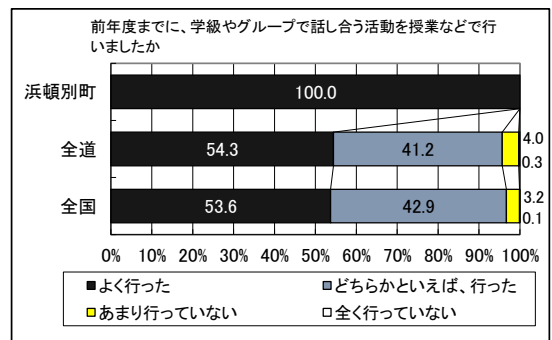
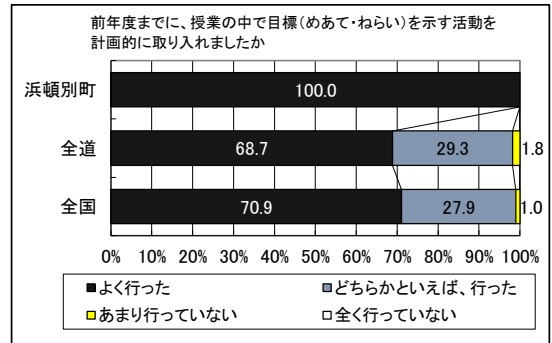
## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

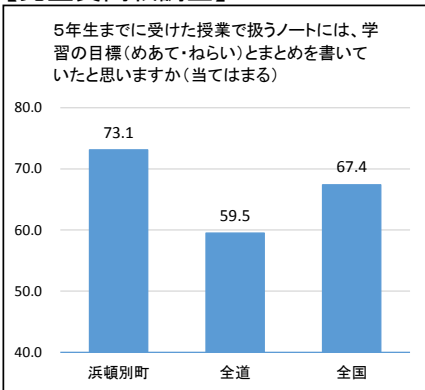
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



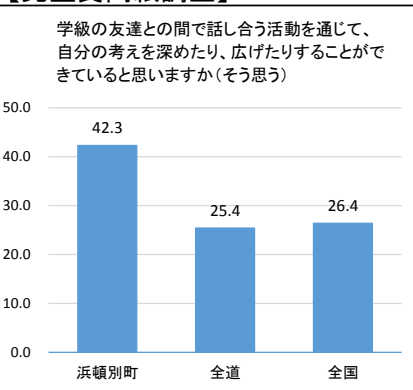
## 【学校質問紙調査】



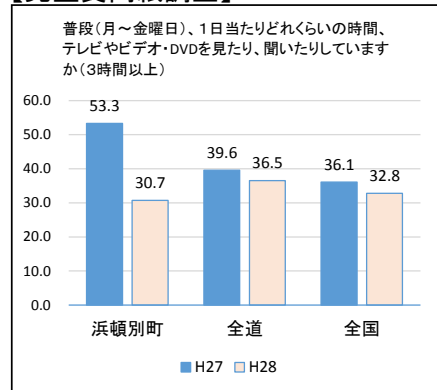
## 【児童質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【分析】

教科	分析内容
国語	○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」で、全国を上回っている。
児童質問紙	○ 「5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」という質問に、「そう思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 「前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか」という質問に、すべての学校が、「よく行った」と回答している。 ○ 「前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか」という質問に、すべての学校が、「よく行った」と回答している。
学校質問紙	○ 国語の指導事項を踏まえ、授業の中で友達と話し合う活動を充実させたことにより、国語Aの「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。 ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れたことにより、目標やまとめ、学習した内容が残るノートづくりが徹底され、学力向上につながったと考えられる。 ○ 1日当たり3時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしていると回答した児童の割合が、前年度から大きく減少し、全国を下回るなど、生活習慣の改善が図られたことにより、学力向上につながったと考えられる。

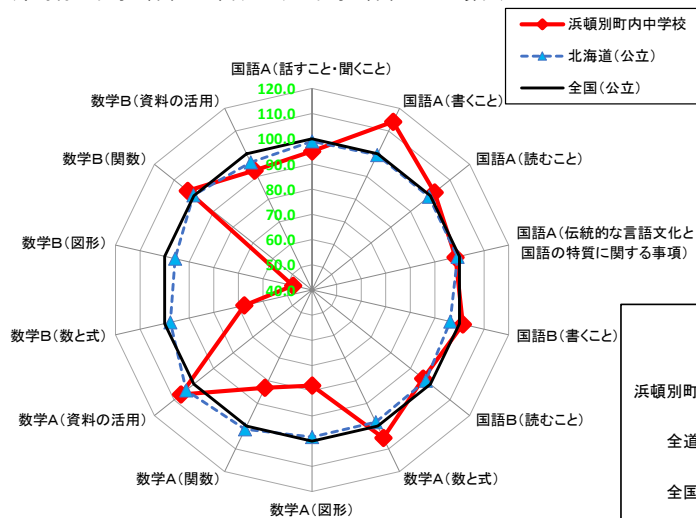
## 【浜頓別町の学力向上策】

- ◎ 浜頓別町小中交流委員会・浜頓別町教育研究会と連携した小・中連携の推進
- ◎ 指導過程や板書、ノート指導、学習規律などを全校で統一した授業実践の推進
- ◎ 「分かる授業」づくり、ピア・サポートの導入、道徳の時間の充実など、子どもの自尊感情を育てる取組の推進
- ◎ ティーム・ティーチングや習熟の程度に応じた指導の工夫・改善

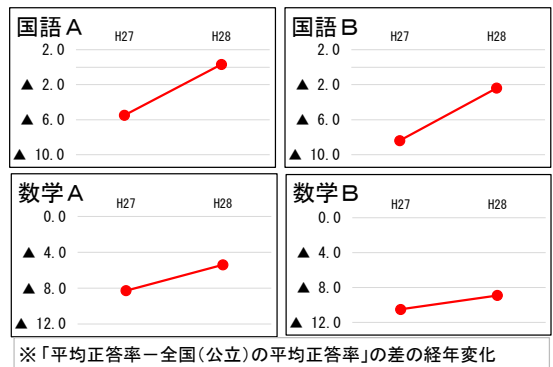
# ■ 浜頓別町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1、生徒数: 22名)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

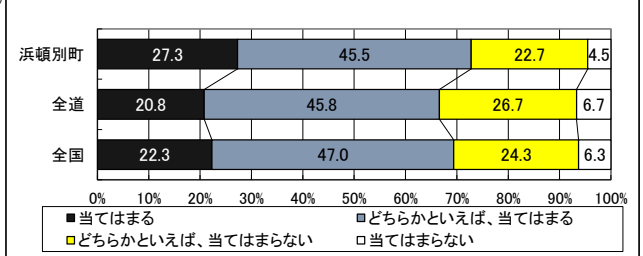


## 【平均正答率の全国との差の推移】



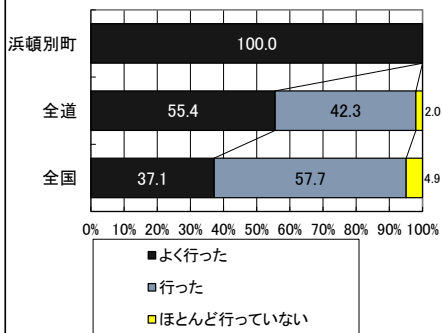
## 【生徒質問紙調査】

1・2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表などの学習活動に取り組んでいたと思いませんか



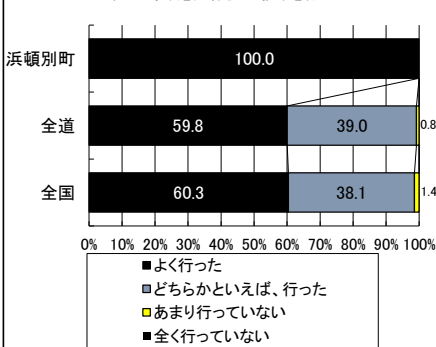
## 【学校質問紙調査】

平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



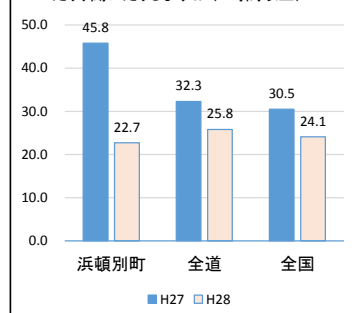
## 【学校質問紙調査】

国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか



## 【生徒質問紙調査】

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(3時間以上)



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは「書くこと」、「読むこと」で、全国を上回っている。</li> <li>○ 数学Aでは「数と式」、「資料の活用」、数学Bでは「関数」で、全国を上回っている。</li> <li>○ 平均正答率の全国との差の推移では、すべての教科で、前年度を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で共有し、授業改善を進めたことにより、すべての教科で全国との差が縮まったと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「1・2年生のときに受けた授業では学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表などの学習活動に取り組んでいたと思いませんか」という質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったことにより、国語Aで全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」という質問に、「よく行った」と回答している。</li> <li>○ 「国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか」という質問に、「よく行った」と回答している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1日当たり3時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしていると回答した生徒の割合が、前年度から大きく減少し、全国を下回るなど、生活習慣の改善が図られたことにより、学力向上につながったと考えられる。</li> </ul>

## 【浜頓別町の学力向上策】

- ◎ 浜頓別町小中交流委員会・浜頓別町教育研究会と連携した小・中連携の推進
- ◎ 指導過程や板書、ノート指導、学習規律などを全校で統一した授業実践の推進
- ◎ 「分かる授業」づくり、ピア・サポートの導入、道徳の時間の充実など、子どもの自尊感情を育てる取組の推進
- ◎ ティーム・ティーチングや習熟の程度に応じた指導の工夫・改善